



やじゅ (愛知県)

「おかえりモネファン」から「登米ファン」に



▶朝ドラで描かれた登米市へ聖地巡礼してから魅了され、登米ファンに。その後も数回訪れています。▶デスクワークをしながらH@!FMを聴いて、番組に投稿するのが日課。登米が生活の一部になっています。▶油麩が大好きになり、地元のスーパーに要望して置いてもらえるようになりました。今は定期的に地元スーパーで購入しています。▶SNSなどで登米市の良さを広めています。



秋田大学 益満ゼミナール

益満 環 准教授

登米市の取り組みをシティプロモーションの良い事例として広めています



ホームページ

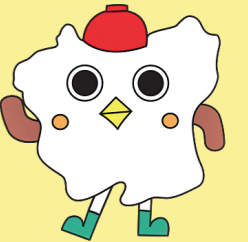


登米市のイベントに学生たちと参加。PR活動を楽しく学んでいます。

▶私の母校である秋田県立大曲高等学校の学生とのワークショップや、市民向けのセミナーなどで、登米市のシティプロモーションの取り組みを紹介しています。▶ただ動画を作って配信するだけではなく、市民が参加しながら市のPRに取り組み、朝ドラの誘致にまでつながった登米市のシティプロモーションは、ほかの地域にはないものだと思います。▶これからも多くの学生、学校、地域が連携してつながっていければうれしいです。



全国のサポーターのみんなが
いろいろな取り組みで
登米市の魅力を発信しているよ



登米市観光PRキャラクター「はっonton」
© 登米市観光物産協会

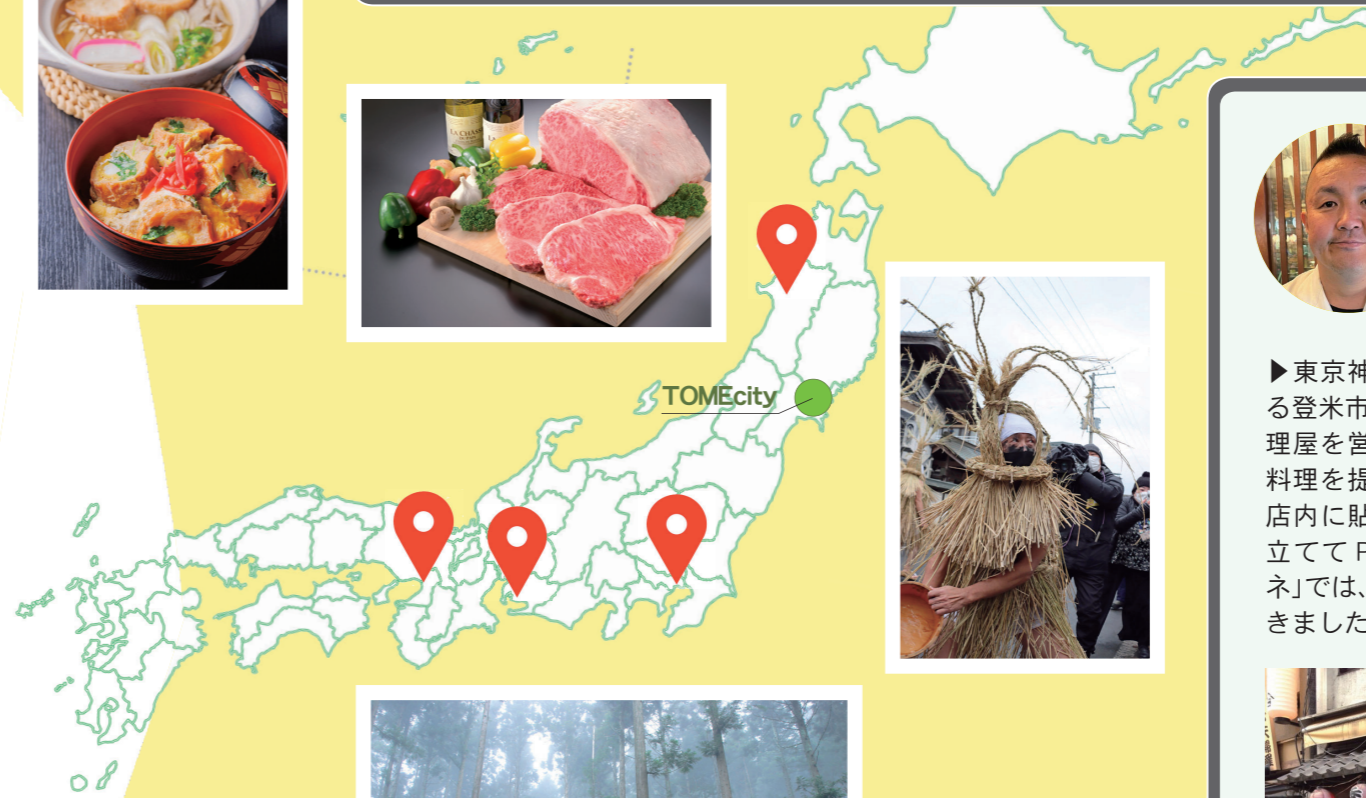


阿部 仁 (大阪府)

大阪府堺市立少林寺小学校教諭
授業で登米市のPR動画を活用



▶社会科の授業で、登米市PR動画「登米無双」を紹介しています。▶「登米無双」は、子どもたちがとても興味を示していて魅力的な良い動画だと感じています。▶動画をきっかけに、子どもたちが登米、宮城、東北に興味を持ち、防災や東日本大震災の学びを深めることができました。登米市からの出前授業もしていただき、ゆるキャラ「はっonton」も大人気です。これからも子どもたちとともに登米のファンを増やしていきたいです。



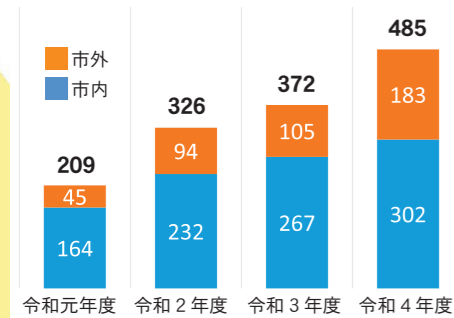
瀬古 英三郎 (東京都)

料理で登米市をPR

▶東京神田の「竹仙」で、母の出身地である登米市や宮城県の料理を提供する小料理屋を営んでいます。▶登米市の食材や料理を提供したり、登米市のポスターを店内に貼ったり、店の外にはのぼり旗を立ててPRしています。▶「おかえりモネ」では、「はっonton汁指導」をさせていただきました。



サポーター登録数の推移



サポーターの登録状況
令和5年3月末現在で、485の個人・団体が登米市シティプロモーションサポーターに登録しています。居住地別では、市内が302件、市外が183件(うち79件は県外)です。「おかえりモネ」の放送の効果もあり、市外在住のサポーターが増加しています。

